

横浜市港南区役所 御中

港南区民文化センター
平成28年度事業計画書

平成28年3月24日

京急グループ共同企業体

基本の方針(ビジョン・ミッション含む)

ビジョン

港南区民文化センターひまわりの郷が、限られた人だけでなく、あらゆる世代・人種・性別が融合集約していく、港南区の文化・芸術の総合ターミナル(「駅」)として、機能していくことを目指してまいります。

ミッション

[鑑賞系事業] 国内外の芸術文化の鑑賞と交流の機会を区民に提供します	<ul style="list-style-type: none"> 芸術文化との出会いをとおして、生きる喜びや感動を伝えます。 誰もが、音楽や演劇、ダンスに気軽に、身近に鑑賞できる機会をつくります。 芸術家と交流する機会や場をつくります。 芸術文化の専門機関として、新しい作品づくりに取り組み、未知の表現に出会う喜びを、区民の皆さんに提供します。
[普及系(ワークショップ、講座等)事業] 国内外の芸術文化の鑑賞と交流の機会を区民に提供します	<ul style="list-style-type: none"> 芸術をとおして自分を表現する喜びや楽しさ、難しさを体感してもらうことによって、自己実現や日常生活に新しい可能性を発見してもらいます。 子どもからお年寄りまで、世代別になることなく、誰もが気軽に芸術に触れ、体験できるプログラムを提供します。
[普及系事業(アウトリーチ)] 教育や福祉の現場と積極的な連携を図り、子どもや青少年の健全育成、高齢者の元気回復などに取り組みます	<ul style="list-style-type: none"> ひまわりの郷以外の様々な場所で、多様な区民が芸術や文化に触れる機会を提供します。 芸術活動をおとして、子どもたちの表現力や想像力、コミュニケーション力を養い、創造性や個性を育みます。 区内の学校で芸術文化教育プログラムを提供します。 区内のケアプラザなど福祉施設や地区センターなどと協働で、高齢者の元気回復や障がい者のリハビリテーションなどに芸術の力を活かします。
[区民文化活動の支援] 区民や文化団体の主体的な芸術文化活動を支援、育成します	<ul style="list-style-type: none"> 文化団体や文化活動をする区民の相談に応じ、専門的・技術的な支援を行なうことで、地域の芸術家・芸術団体、新進の芸術家・芸術団体の創造活動をサポートし、育みます。 区民文化センターで行われる利用者の催しの広報を支援し、文化活動に参加する区民同士が交流し、活動を刺激するような創造と出会いの場を提供します。 団体相互の活動の活性化に寄与するよう、区内の文化団体等の情報を集め、広く周知いたします。 区民が舞台づくりに参加したり(区民参加型事業)、文化事業を支えるボランティア等への参加を促すことで、自らの手で舞台を企画・運営・出演する機会をつくり、地域での文化活動を主導する人材の育成をすすめます。
[文化的commons] 港南地域のネットワークの形成に寄与してまいります。	<ul style="list-style-type: none"> 文化団体に限ること無く、港南区の様々な団体や施設(町内会、福祉団体、商店街、他の公共施設等)について、リサーチし把握いたします。 区民文化センターの活動内外を問わず、区内の施設や団体と様々な機会を通じて連携関係を築き、共同事業の実施などを通じ、地域ネットワークの形成をいたします。 区民文化センターの外においても様々なアートプロジェクトを支援するなど、地域文化のコーディネート役として機能し、地域のつながりづくりに貢献いたします。 当館の専門的な経験や知識を活用し、区内のさまざまな施設や団体と積極的な連携を図り港南区全体の文化振興を支えます。 新しい文化の創造など、港南区固有の文化を育て、「港南区」や「かみおおおか」の存在を広くアピールし、地域を誇りに思える牽引車の役割を果たします。
[ソーシャル・インクルージョン] 港南区民の様々な社会参加の機会を創出してまいります。	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術に関心がある人だけを対象とすることなく、区民文化センターに来場できない人、文化活動への参加が難しかった人を対象とした港南区全域での事業展開を行います。 文化活動を鍵として様々な環境や境遇にある港南区民の社会参加の機会を創出します。
[ホスピタリティやサービス] 利用者に対して、きめ細かいサービスを提供し、誰もが気軽に利用でき、快適な時間を過ごせる場を提供します	<ul style="list-style-type: none"> 交通広告やリーフレット、WEBページなど、公演や催し物情報へのアクセス経路を工夫、充実させます。 あらゆる場面で、お客様を心地よく迎える接客マナーを心がけ、きめ細かい利用者サービスを充実させます。(OJアプリサービス、託児サービスなど)。 利用者の声に積極的に耳を傾け、利用者の視点に立った柔軟な運営を行います。 利用申し込みから受付、料金の支払い、当日利用、精算まで、利便性の高いサービスを整えます。
[施設の維持管理] 芸術鑑賞に最適な安心、安全、快適な施設を創りだす運営体制を整え、文化活動の振興に寄与いたします。	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理基準の徹底を図ります。 清潔で心地よい施設環境を整えます。 設備の保守点検、メンテナンスに万全を期します。
[経営体制] 効率的で円滑な運営が行えるよう、経営努力にスタッフ全員で取り組みます	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ一人ひとりが、これら「ミッション」を意識して業務を实践し、適正な人員配置で、事業の充実と効率性を両立させます。 事業の内容や成果、経営情報を積極的に公開し、経営の透明性とアカウンタビリティを高めます。 事業収入の拡大、助成金・協賛金などの外部資金の活用によって自主財源の確保に努め、施設や設備の有効な活用と経費の削減を図り、経営効率を高めます。

団体名

京急グループ共同企業体

運営組織の構造

■ 運営組織の構造

■ 共同企業体結成の考え方と構成団体の役割

指定管理制度が導入されて以来、港南区民文化センターの維持管理業務を実施し、施設の特性、地域の特性を熟知している、経験と実績豊かなコンソーシアムが、第三期指定管理においても、各構成団体の専門性と地域の力を融合させた運営と一元的な施設管理により、港南区民の文化芸術活動を支援してまいります。

運営統括(代表企業) 株式会社京急アドエンタープライズ

京急電鉄のハウスエージェンシーとして、京急グループ各社から受け継いだサービスに対する厳しい姿勢、そして、地域に密着した無駄のない伝達力を武器にクライアントと共に歩んだ実績を活かし、施設運営を行ないます。また経営理念「沿線の新たな価値を創造し、お客さまの事業の繁栄と、社会の発展に貢献する」に基づき、地域に密着した区民協働、施設運営、事業展開を行ないます。

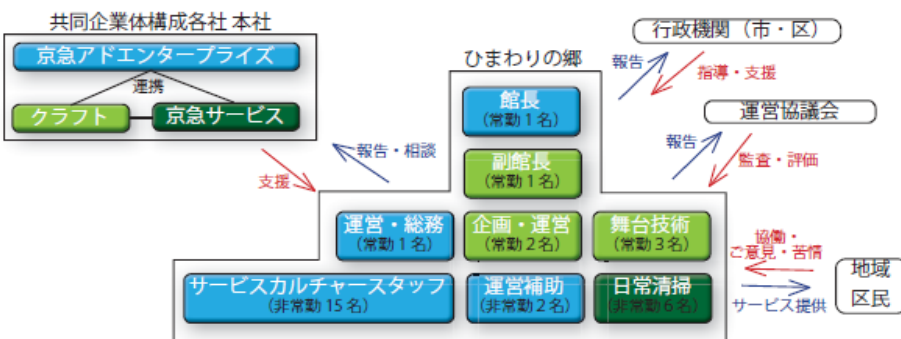
企画統括・舞台維持管理 株式会社クラフト

「創造的コミュニケーション企業」を目指し、舞台技術の専門家としてラフォーレミュージアム・六本木ヒルズアリーナ等のホール運営管理から、照明や音響、舞台のデザイン、オペレーション、各種イベントの企画、制作、運営、演出まで幅広くコンベンションビジネスを手がけています。イベントやアートなどの直接的なコミュニケーションのエキスパートとして、利用者へのアドバイスや技術サービスの提供を通じ、区民の創造発信をアシストしてまいります。

施設維持管理 京急サービス株式会社

京急アドエンタープライズ同様上岡に本社を置き、経営理念「安全、快適、清潔な生活環境を創造することが努め」に基づき、京急沿線を中心に、ビルホテルマンション管理、警備、清掃業務、保育園や介護事業を営んでいます。港南区民文化センター館内の清掃管理業務と各設備保守点検を担うほか、ゆめおおおかビル商業棟の電気・空調・給排水設備を管理、また警備防災・清掃・駐車場管理業務についてはゆめおおおかビル全体について請け負っています。

■ 運営体制



運営体制は、図のとおり、館長、副館長に加え、総務全般を担当する職員1名、自主事業等企画や広報活動を担当する職員2名に運営補助スタッフ2名を加えた7名を施設運営全般にかかわるスタッフとし、シフト制により常時2名で施設の企画管理運営にあたります。技術者については舞台技術担当3名の常勤者でシフト勤務に就くほか、受付業務等を行なうサービスカルチャースタッフや環境維持管理を行なう清掃スタッフについても、シフト勤務にて運営にあたります。

団体名

京急グループ共同企業体

文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供

- 協働の効果・貸館とのバランス
- 多彩な文化芸術の鑑賞機会の提供
- 多様な文化芸術の創作活動の機会の提供
- 文化芸術の創作活動の機会の提供

平成 28 年度 (2016 年度)

ホール鑑賞事業/オアシスコンサート 8 回 ・ひまわり紀行 (日本文化の伝承) 2 回 ・その他事業 3 回
 ウェルカムキッズシリーズ年 6 回 ・45 シアター (音楽ルーム) 年 6 回 ・区民参画協働企画 7 回
 アウトリーチ事業 5 回 ・プラットフォーム事業 3 回 参加者達成目標 11,000 人 (H26 10,363 人)

平成 28 年度文化事業の具体的な企画

企画名	時期・期間	企画概要	経費見込み (千円)
オアシスコンサート (成熟した鑑賞者向けのクラシック)	4月	仲道 郁代ピアノ・リサイタル	706
	5月	レジス・バスキエ ヴァイオリン・リサイタル	
	6月	趙静 (チョウチン) チェロ・リサイタル	
	9月	ブラハ・グアルネリ・トリオ	
	10月	ルートヴィヒ・チェンパー・プレイヤーズ	
	12月	バロック・アンサンブル	
	5月 11月	アフタヌーンコンサート	
ウェルカムキッズ (0歳児から入場できる親子向けコンサート)	4月	ピアノ・ヴァイオリン コンサート	900
	6月	サクソフォン コンサート	
	8月	太鼓コンサート	
	10月	フルート&ハーブデュオ	
	12月	親子で楽しむクリスマスコンサート	
45 シアター	2月	7名編成のオーケストラ	660
	5月	リトミックシアター	
	7月	墨彩画講座	
	9月	工作教室	
	10月	ハロウィンパーティー	
	1月	正月遊び	
ひまわり紀行	3月	工作教室	650
	8月	落語	
	1月	伝統芸能集団「和力」	
区民参画協働企画	5月~10月	楽器ワークショップ	3,520
	8月	手話ワークショップ	
	9月~3月	オペラワークショップ	
	7月	こども・ミーツ♥オーケストラ@ひまわりの郷	
	9月	邦楽ワークショップ発表会	
	3月	ファミリーミュージカル	
	3月	KOUNAN STREET DANCE CONTEST	
その他企画	8月	夏休みひまわりサマーフェスタ (全館使用)	2,300
	8月	障がい者によるミュージカル	
	12月	クリスマス JAZZ コンサート	
アウトリーチ事業	年 5 回	要望に応じて選択	100
プラットフォーム事業	年 3 回	区内の小学校でのプログラム	委託

団体名

京急グループ共同企業体

地域コミュニティの形成・社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)の推進

港南公会堂、社会福祉協議会や地区センター・コミュニティハウスなどの地域施設との連携を進める中で、区民文化センター自体も交流を図るための体制づくりを進め、近隣の保育園や幼稚園、小中学校や高校・大学、自治会・地域ケアプラザ・区民活動支援センターや商業組合・施設などそのノウハウを蓄積し、各地区センターとの情報交換を行うことで、その交流の精度を上げるとともに、各地区センター間の連携も深めるものになります。

平成 28 ~ 29 年度「始動~定期期」とし

- 1) 地区センター等との連携と協働体制作り
- 2) 近隣教育機関等との連携と協働体制作り
- 3) 地域事業への参画希望者の掘り起こしと育成等を基本に、積極的で丁寧なアウトリーチの実施で、以後に繋がるものになります。

地域コミュニティの形成・社会的包摂の推進のための
 情報収集・意識醸成・体制構築・人材育成期

平成 28 年度、29 年度「始動~定期期」の取組方

1) 地区センター等との連携と協働体制作り

港南公会堂、港南区社旗福祉協議会、地区センター、コミュニティハウス、スポーツ会館へ訪問・交流・事業制作の手助け等を足がかりに、定期的なリサーチ・情報提供等を行うことでネットワークの強化を図ります。付近教育機関、自治会、商店会等へ、各地区センターを通じひまわりの郷・各地区センターが区民文化活動に対し出張サービス等協力する用意があることを再認識させると共に、その展開の中で団体・区民とのコミュニケーションを図り、区民自らの手による文化活動の担い手の発掘・養成を目指します。 ※高校生・大学生への取組では全区でのアプローチを展開します。

2) 近隣教育機関、自治会、商店会等との連携と協働体制作り

小学生への学校プログラムにとどまらず、保育園・幼稚園や中学校等へも芸術文化教育プラットフォーム事業を行う等交流を深めると共に、近隣自治会、商店会、障害者地域作業所等も含め、ひまわりの郷が区民文化活動に対し出張サービス等協力する用意があることを再認識させると共に、その展開の中で団体・区民とのコミュニケーションを図り、区民自らの手による文化活動の担い手の発掘・養成を目指します。また、その展開で得た情報やノウハウ等をデータ化し、他地区センター等のものと共有し内容の向上を図ります。



3) 地域事業への参画の促進

上記における団体・区民の文化活動の担い手の発掘・養成と共に、全区に向け地域事業への参画を意図されている方を対象に、区民文化活動の担い手育成講座や文化活動ボランティア公募の実施をともなう事業展開をする等、区民文化活動の機会の創出と参加意識の醸成を図ります。

団体名

京急グループ共同企業体

市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成

～ 居場所 と 出番の創設～ 地域社会にコミット



港南区民文化センターは、質の高い演目をリーズナブルな価格で提供するなど、様々な形で文化芸術支援を行ない潤いのある地域の実現にむけて運営してまいりました。

しかしながら、人口減少や急速な高齢化が進行する中で、質の高い市民生活を実現していくには、市民一人ひとりが社会のメンバーとして「居場所と出番」を持って社会に参加し、それぞれの持つ潜在的な能力をできる限り発揮できる環境整備が不可欠であると考えます。【市民協働】【市民主体の活動の支援】【地域人材育成】を、その

対策とされる「社会的包摂」への文化的アプローチのひとつとして捉え、より一層地域社会にコミットしてまいります。既存の社会の枠組みやネットワークから外れてしまった市民のためにあらたな複合的文化ネットワークを創設することで【居場所】を提供、また協働参画しやすい事業の創設により【出番】の提供に寄与すると考えております。

■市民主体の活動の支援

- (1)創作活動支援
【タブレットの活用】
- (2)活動者支援
- (3)広報支援

■市民協働 ～創作活動を通して

- (1)港南ストリートダンスコンテスト
- (2)区民ミュージカル
- (3)事業公募

■市民協働 ～スタッフとして

- (1)カルチャースタッフとして
- (2)ボランティアスタッフとして
- (3)区民プロデューサーとして

■地域人材育成

- (1)区民プロデューサー講座
- (2)レセプション講座
- (3)舞台技術講座

団体名

京急グループ共同企業体

文化的コモンズ形成の牽引

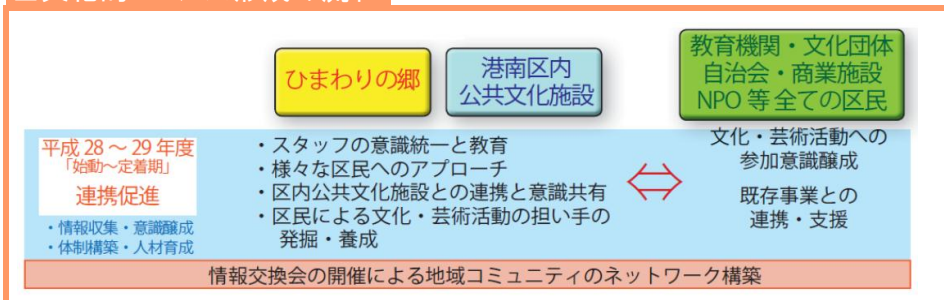
地域コミュニティのネットワーク構築 ～人々が集い、つながりを持てる場所を目指して～

文化的なつながりを求めて港南区民が集まり、文化・芸術による共感を得られる拠点として「ひまわりの郷」を位置づけ、教育機関・文化団体や自治会・商業施設等地域コミュニティのネットワーク構築のための接続点となり、地域における文化の担い手作りを進め、文化による次世代育成と地域社会の活性化の一助となるべく、公共施設、団体と協働して、文化的コモンズ形成のコーディネーターを担っていこうと考えています。

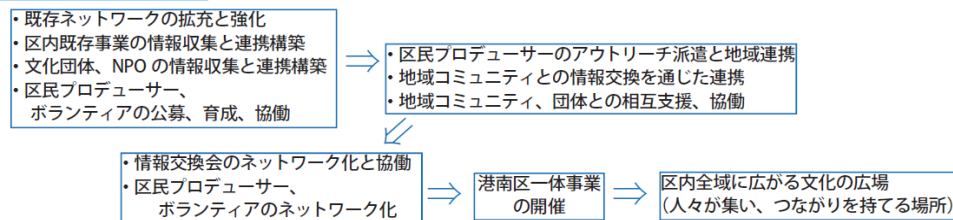


文化による次世代育成と地域社会の活性化

■文化的コモンズ形成の流れ



事業イメージ



■文化的コモンズ形成のため:

- 1) 従事スタッフ意識統一と教育
- 2) 様々な区内既存事業との連携
- 3) 公共施設・団体との連携と意識共有
- 4) 区民自らの手による文化・芸術活動の担い手の発掘・養成
- 5) 顔の見える・機能的なネットワーク構築
- 6) 福祉的なアプローチを形成

団体名

京急グループ共同企業体

広報・プロモーション活動、情報提供

■各種媒体によるプロモーション活動

■ひまわり通信(施設広報誌)

月1回発行(館内、港南区役所、区民文化センター他)



■ひまわりの郷ホームページ

随時更新



■自主事業チラシ

都度



■SNS(フェイスブックページ)

■アドTV(館内デジタルサイネージ)

■ひまわりアドボード(上大岡駅バスターミナル)

随時更新



■京急線各駅ポスターボード

■京急沿線広報誌「なぎさ」、京急百貨店「オーカスクラブ通信」

■TV媒体(CATV)

■メールマガジン

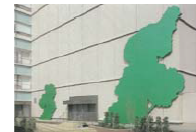
団体名

京急グループ共同企業体

アイデア・ノウハウの提案

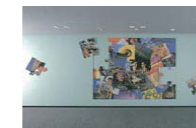
■パブリックアート再発見

港南区民文化センターのあるゆめおおか周辺には、開館時設置された著名な作家によるたくさんのパブリックアートがあります。キーワードは「パッセージ(通過する)」で建築とあわせて制作されており、設置から18年が経過したいま、すっかり空間と融合しています。しかしながら、この18年間の月日は皮肉にもこれらアートの設置意義・主張、いきさつまでも人々の脳裏から消し去りつつあります。そこで、現在もこれらアートの管理を続けている横浜市住宅供給公社との協働で、これら作品を再構成し、パブリックアートとして区民に楽しめる仕組みをご提案いたします。



本来、他の複合施設への来街者を区民文化センターに向けて誘導することは、立地的に極めて困難ではありますが、4階には人気作家の作品をはじめ数多くのアートが存在していることから、誘導が可能となり、施設の認知のきっかけにもなると考えます。

(1) パブリックアートMAPの作成と配布



作品MAPを作成し、複合施設内店舗や近隣商店街と連携して配布し、施設の館外のアートについても見学需要を喚起します。

(2) ICTを活用した作品紹介

スマートフォンのBluetooth機能を利用したiBeacon(アイビーコン)を設置し、見学者の所持するスマートフォンへ作品紹介をプッシュします。

■施設を動画配信・ご案内に

現在のひまわりの郷WEBページにおいて施設紹介のページは存在しますが、そのコンテンツは写真や図面を中心に構成されています。これらのコンテンツからでは読み取りづらい諸室の使い勝手を動画撮影し、誰でも簡単に理解できるよう紹介いたします。これらの動画は【YouTube】にアップロードし、WEBページからリンクを張ることにより容易に更新を可能にするともに、受付にもタブレット等を配備。初めて来館され施設利用の相談の際に諸室が使用中で視察ができない状況でも、簡単に施設の概要が把握できます。

コンテンツ例

・インフォメーション～情報コーナー ・ギャラリー(稼働展示壁のレイアウト変更のパターンや照明) ・練習室(防音性、設備レイアウト) ・会議室(レイアウト実例) ・音楽ルーム(ピアノレイアウト、ブラインド昇降、照明・音響設備) ・ホールエントランス(正面入口～ホワイエ～入場口/バントリー等の諸設備) ・ホール客席(客席位置からの舞台の見え方、親子室) ・ホール舞台(稼働席のレイアウト、反響板) ・ホール諸設備(照明、音響、ピアノ他備品) ・ホール楽屋

■備品管理の電子化

港南区民文化センターは、開館後18年が経過し、さまざまな設備の経年劣化や交換が目立ち始めております。現在、施設の備品は帳簿(紙ベース)にて管理を行なっておりますが、これら情報のDATABASE化をご提案いたします。

昨今、照明器具では、高熱を発するハロゲン電球の爆発事故が各地から報告されております。現時点で当館においては、お客さまに影響するような大きな事故は発生しておりませんが、電球の破損については既に散見されています。原因は、電球自体の寿命や、製造過程での不良が主であり、これらの現象を事前に把握し、検査することが、破損や爆発防止には肝要となります。

備品類や修理箇所等について、紙ベースでの管理部分を順次データベース化することにより、予防修繕の分析を容易にし、蓄積したデータをさらに効率的かつ有効に活用します。電球等消耗品も個体ごとに納入時期・ロットをデータベース化し、交換状況を把握するとともに不良電球の同時期納品の把握が容易になり、事故を未然に防止することにも繋がるほか、各種機器の耐用年数やメンテナンス報告を反映し、日常点検を重点をしばった効率的な点検も可能となり、さらなる効率的な備品管理を実現します。

団体名

京急グループ共同企業体

貸出業務への取組

貸出業務におけるホスピタリティ

■ ワンストップサービス ～ビジュアルを使用したアドバイス～

施設の利用に関するお問い合わせは電話でも来館でも随時受け付け、視察・見学のご希望があった際にも、他のお客さまの利用状況に応じて柔軟に対応いたします。副館長、企画運営チーフは、制作、舞台技術 10 年以上の経験を持ち、舞台技術スタッフとのローテーションにより常駐体制を実現いたしております。窓口スタッフと共にお客様の疑問や要望に即応するワンストップサービスを実現し、施設利用実例写真や舞台効果事例写真、客席からの見え方写真、また前項でもご提案いたしました、区民文化センターの WEB ページからリンクされた【You Tube】で諸室を撮影した動画等をお客さまご自身がパソコン、スマートフォン等からご覧いただき、簡単に使い勝手や様子の確認ができるようになりますと同時に、受付にもタブレット等を備えることで、ご自身で ICT 機器を扱うことができないお客さまや、施設利用の相談で来訪された際に諸室が使用中で視察ができない状況でもご確認を容易にし、安心してご利用いただけるようにいたします。

■ バックアップ体制

舞台制作において、利用者が持込んだ機材の不良や不備は決して少なくありませんし、また館に備え付けの備品だけでは対応できないケースも散見されます。当グループではこれらご利用される方のお悩みに即応できる体制を構築し、お客様の催事成功に寄与したいと日頃より考えております。グループ企業が所有する照明、音響、舞台機材や備品をバックアップ備品としてお貸し出しすることで対応してまいります。またこれら機器類は、外部催事への貸出にも対応でき、アウトリーチや他の区内公共施設へのサポートの一つとして貢献しております。

利用率の更なる向上をめざして

■ ホール 利用可能コマ平均利用率 (H23 年度 70.3%、H24 年度 70.2%、H25 年度 69.4%、H26 年度 68.4%)

当館のホールについては平均すれば利用可能コマ数の 68 ～ 70% の利用率となっておりますが、港南区に隣接する戸塚区で、平成 25 年夏に新規に開設された区民文化センターの出現で若干利用率が下がる傾向にあります。またその中身と言え、土曜休日のホール利用は、利用料金が高いにもかかわらず、「横浜市民利用施設予約システム」の 6 ヶ月前抽選で当選しなければ利用できないほどの人気であり、仮に抽選後に休日中利用に空きがある状況であったとしても、先着順申込み開始と共に、すぐに（他館の抽選に漏れた利用者から）申込みがされ、稼働は維持される状況です。一方、平日は 8 月、12 月、3 月という学校のお休み（夏休み・冬休み・春休み）を含む月以外の利用は低く、全体の利用率を上昇させていくためには、学校がある時期の平日のホール利用需要を創出させていくことが肝要と考えております。

■ 平日（横浜市立一般小学校の休校日を除く）2 階不使用本番割引の創設

これら平日の集客にはホール利用者（主催者）自身も苦慮しており、港南区民文化センターのホールの持つ 381 席の需要を使い切る利用は多くはありません。そこで、私どもは中規模の催事需要にお応えするため、これらの平日に 1 階席（240 席）のみを本番でご使用になられる場合に限り、ホール利用料金から 20% を割引く制度の導入をご提案します。（準備・練習・搬出でのご利用は、すでに 30% 引きとなっておりますので対象外といたします）

しかしながら、平日利用の需要掘り起こしには近道は無く、港南区内の企業や学校を手始めに、文化団体、音楽サークル、劇団など、幅広い対象にホール利用の働きかけを個別に行なっていき、地道に周知と利用促進を図り続けてまいります。

団体名

京急グループ共同企業体

貸出業務への取組

■ 利用率の更なる向上をめざして

■ ホールの終日利用割引の創設

ホールの利用については、既に 2 区分連続（午前＋午後または午後＋夜間）で予約が入ってしまっていると残りの 1 区分（午前又は夜間）単体では新たな予約が入らず空きコマとして消費されてしまうケースが多分にあります。そこでホールを 2 区分連続でご利用されるお客様に対し、残るもう 1 区分のご利用をご検討頂くために、新たな割引制度として、入場料を徴収しないホール利用に限りですが、終日利用の割引を導入したいと存じます。（詳細は、様式 31 にて後述）

■ ホールの直前割引制度の継続

また予約がなされない空きコマ（利用されないまま過ぎる時間帯）を減らす努力は利用率のみならず収入面で大きな効果を生むことができます。港南区民文化センターの上大岡駅に近接するという特性を活かし、区内外のお客さまに積極的にこの施設予約システムでの利用予約ができなくなる 28 日を切った空きコマについて、その空き情報を掲示や WEB などを通じ積極的に公開するとともに、練習利用の需要を喚起させるために、割引サービスを継続いたします。具体的には、そもそもホールをリハーサルや練習利用する場合、入場料を徴収しない本番での料金の 7 割とする定めが横浜市区民文化センター条例にありますが、ご利用日まで 14 日（2 週間）以内に迫ってから、練習（客席不使用）の目的でホール利用される場合に限り、本年 2 月より 5 割引で利用ができるようにいたしており、今後もこれを継続し、空きコマの撲滅を目指します。

■ その他

音楽ルーム 利用可能コマ平均利用率 (H23 年度 81.9%、H24 年度 81.5%、H25 年度 78.4%、H26 年度 74.5%)
会議室 利用可能コマ平均利用率 (H23 年度 85.0%、H24 年度 84.5%、H25 年度 81.7%、H26 年度 80.8%)

音楽ルームと会議室については現状 70 ～ 80% の利用率で推移しておりますが、戸塚区民文化センターの影響はあり、利用率が若干下落する傾向にあります。音楽ルームも会議室も、現在利用されている目的以外の区民利用者を発掘（例えば社交ダンスの練習場として利用してもらう等）し、利用率を現在より確実に向上させ、元の水準に戻してまいります。

このほかの施設である、練習室は広い A ルームが 80% 台、狭い B ルームが 95% 程度の稼働、ギャラリーも 93% 以上の稼働となっており、利用率は比較的安定して推移しております。ギャラリー、練習室の貸館については、現在の運用を継続し、利用率の維持に努めてまいります。

団体名

京急グループ共同企業体

小破修繕への取組

■ 施設・設備の現状と今後の修繕計画

当該施設はオープンから約20年が経過し、施設・設備（機器含む）の随所（空調設備、舞台機構、舞台音響設備、舞台照明設備、エスカレーター、ホール座席、ピアノ等）に経年劣化による不具合や傷みが発生してきております。

これらは、今までの設備の定期保守点検や小破修繕により、ある一定の性能を維持してまいりましたが、「施設の高い稼働率」と「設備（機器）の使用頻度の高さ」が相まって、さらに劣化が進むことが予想されます。また、設備（機器）に故障が発生した場合、既設設備（機器）のモデルチェンジ等による生産中止により、修理部品の調達が困難になってきている状況です。

そのため、今後の定期保守点検での調整や小破修繕では修理しきれず、設備、機器が持つ、本来の性能を維持出来ないまま利用者に提供することになり、さらには万が一の事故にも繋がりがかねません。

こうした現状を踏まえ、今後、当該施設及び各設備等の長期的な修繕計画が必要であると考えます。私ども、共同企業体は2期に亘る当該施設の指定管理運営に係わり、施設及び設備の現状を細部に亘り把握しているのはもとより、多くの文化施設、多目的施設のホールを含む改修工事、更新工事に係わり培ったノウハウを活かし、効率的で無理のない修繕計画を提案するとともに、今後も積極的に小破修繕を行なうことにより大規模修繕発生抑制に努めてまいります。



【ホール舞台床面の劣化】



【音響調整卓/故障部品入手困難】



【照明調光卓/故障部品入手困難】



【空調設備/著しい経年劣化】



【ホール座席/座面の破損・汚損】



【エスカレーター/減速機の劣化】

美観維持と長寿命化

ホワイエのチェアの汚れが目立ってきておりますので、休館日にファブリックシートのスチーム洗浄のうえ、染み抜きを実施し、一歩踏み込んだ美観の維持に努めます。

なお、作業については外部委託せず、上大岡に常駐する当グループ清掃スタッフが直接特別清掃を実施することにより、大幅な経費節減が可能となります。

団体名

京急グループ共同企業体

防災に関する取組

■ 災害時の情報収集と緊急体制

災害時の情報収集と緊急体制として、以下の備えをいたします。

- ・平常時も含め災害時の情報収集の手段として、登録している「横浜市防災情報サービス」等を活用し、市内の災害情報をリアルタイムに収集し、状況に応じた適切な災害対応に努めます。

- ・大規模災害が発生し、運営スタッフの勤務が困難な状況になっても施設の機能を維持できるように、静岡県、愛知県の同業（指定管理業者）他社と「公共施設における大規模災害時の応急対策業務実施に関して」契約を結び、受託公共施設に勤務する社員が被災し自社で業務の継続が困難と判断されたり、受託公共施設から応援要請に自社の人員では賄いきれないような状況におちいった場合でも、他地域から業務支援が相互に受けられるよう備えております。

■ 災害時の帰宅困難者への対応

地震や津波等の大規模災害発生により、公共交通機関の運行が停止し、施設利用者、あるいは周辺地域に帰宅困難者が発生した場合、港南区との協定（平成24年4月締結）に基づき、速やかに「帰宅困難者一時滞在施設」として施設の受入れ態勢（当施設受入れ数250名）を整えます。

- ・受入れ時はビル防災センター警備と連携し、帰宅困難者が安全な環境で滞在できるように配慮します。

帰宅困難者には横浜市より配給されている「災害時帰宅困難者用備蓄品」（飲料水、ビスケット、アルミブランケット、携帯トイレ）を提供いたします。



【帰宅困難者用備蓄品】

- ・スタッフの災害時備蓄食料も別途備え、2～3名のスタッフが2～3日間、当直のための滞在ができる態勢を整え、帰宅困難者の対応に当たります。



【当直スタッフ用備蓄品】

- ・既に自販機メーカーと契約し、施設内に「災害時対応自動飲料販売機」を設置しており、災害時には無料で自販機の飲料水を利用者に提供いただけるよう備えております。



【災害時対応自動飲料販売機】

団体名

京急グループ共同企業体

平成28年度 「港南区民文化センター」 収支予算書兼決算書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	139,581,000		139,581,000		139,581,000	横浜市より
利用料金収入	25,000,000		25,000,000		25,000,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	5,200,000		5,200,000		5,200,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	1,300,000	0	1,300,000	0	1,300,000	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	504,000		504,000		504,000	
駐車場利用料金収入			0		0	
その他 (フット販売手数料・広告費)	796,000		796,000		796,000	
収入合計	171,081,000	0	171,081,000	0	171,081,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	68,971,490	0	68,971,490	0	68,971,490	
給与・賃金	60,805,305		60,805,305		60,805,305	
社会保険料	5,450,965		5,450,965		5,450,965	
通勤手当	2,715,220		2,715,220		2,715,220	
健康診断費			0		0	健康神殿にかかる費用は給与・賃金に含む
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	退職給付引当金にかかる費用は給与・賃金に含む
事務費	9,720,134	0	9,720,134	0	9,720,134	
旅費	168,000		168,000		168,000	
消耗品費	777,600		777,600		777,600	
会議賄い費	19,200		19,200		19,200	運営協議会・ミーティング時お茶代等
印刷製本費	3,784,794		3,784,794		3,784,794	外注印刷、内製印刷機、コピー機械使用料含む
通信費	1,183,000		1,183,000		1,183,000	電話、インターネット回線、配送費(郵送・宅急便)含む
使用料及び賃借料	1,525,000	0	1,525,000	0	1,525,000	
横浜市への支払分	74,400		74,400		74,400	目的外使用料
その他	1,450,600		1,450,600		1,450,600	広告看板
備品購入費	648,000		648,000		648,000	
図書購入費	491,000		491,000		491,000	WEBページ等コンテンツ制作・運営費
施設賠償責任保険	325,740		325,740		325,740	
職員等研修費	228,960		228,960		228,960	
振込手数料	30,800		30,800		30,800	
リース料	538,040		538,040		538,040	コピー機、印刷機ほか
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
事業費	10,983,000	0	10,983,000	0	10,983,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	10,983,000		10,983,000		10,983,000	
自主事業費			0		0	
管理費	81,190,376	0	81,190,376	0	81,190,376	横浜市住宅供給公社ゆめおおおか管理組合への支払
光熱水費	18,345,000	0	18,345,000	0	18,345,000	
電気料金	7,900,000		7,900,000		7,900,000	
ガス料金	5,700,000		5,700,000		5,700,000	空調・中水に係る分を含む
水道料金	4,745,000		4,745,000		4,745,000	空調・中水に係る分を含む
清掃費	9,769,260		9,769,260		9,769,260	人件費、廃棄物処分費を含む
修繕費	1,746,000		1,746,000		1,746,000	
機械警備費	0		0		0	
設備保全費	18,475,000	0	18,475,000	0	18,475,000	各保守点検費含む
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費	32,855,116		32,855,116		32,855,116	横浜市住宅供給公社ゆめおおおか管理組合への支払(使用料も含む)
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他 ()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費	216,000		216,000		216,000	
支出合計	171,081,000	0	171,081,000	0	171,081,000	
差引	0	0	18,475,000	0	18,475,000	

自主事業費収入	5,200,000			0		
自主事業費支出	10,983,000			0		
自主事業収支				0		

管理許可・目的外使用許可収入	504,000			0		
管理許可・目的外使用許可支出	74,400			0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

